

最近の中学校の先生方を見ると、朝と夕、土日も夏休みも部活に明け暮れ、文科省の調査によると月80〜100時間の残業をこなしている先生が多いことが分かります。いつ休んでいるのだろうか心配になる。

土日は練習だけでなく、練習試合、公式の大会とイベントも多く組まれ、1日が潰れていくことも珍しくはない。

「部活動はそもそも教育課程外で正規に教える事項ではない」として教員の勤務時間外で取り組んでいる事になっている。

制度上、部活動の指導を自主的にやっているのがある。

自主的と言いつても何らかの部活動に強制加入させ、先生方も、顧問を必ず受け持つと言う慣行が全国的にまかり通っており、学生時代に経験したことのない部活の顧問になることが多々あります。

部活動が楽しかったという思い出はありませんか？ 授業やクラスだけでなく、スポーツや文化活動に打ち込んで、みんなで勝利を目指す。熱中したという人は多いと思います。

深中の卒業式の時に「年輪」（今年の卒業生で50号を毎年いただきますが、中学校の果立ちの言葉として部活動や体育祭、合唱祭等で頑張った

深中の卒業式の時に「年輪」（今年の卒業生で50号を毎年いただきますが、中学校の果立ちの言葉として部活動や体育祭、合唱祭等で頑張った

深中の卒業式の時に「年輪」（今年の卒業生で50号を毎年いただきますが、中学校の果立ちの言葉として部活動や体育祭、合唱祭等で頑張った

【深友会・鎌倉歴史散歩】 鎌倉駅西口・長谷方面

- 1. 期日 平成29年11月25日（土） 10時～16時（予定）
- 2. 集合 JR 鎌倉駅西口（裏駅）・時計台前 午前10時
（注）鎌倉市発行の「福寿手帖」をお持ちの方（65歳以上）はご持参ください
- 3. 散策コース（概略）
鎌倉駅西口・時計塔小公園「ウォーナー博士の記念碑」
—鎌倉歴史文化交流館—佐助稻荷神社—銭洗弁才天—
（昼食）葛原岡・長谷大谷戸—高德院（鎌倉大仏）—光則寺
—長谷寺（長谷観音）—御霊神社—江ノ電長谷駅 解散
行程…約5km



深友会（深沢中学校同窓会） 会長 矢澤基一

中学校の部活動を考える

深沢中学校
同窓会報

深友会だより

第 20 号

鎌倉市立
深沢中学校
深友会事務局
〒247-0063
鎌倉市梶原1-14-1
☎0467-44-1222

鎌倉歴史散歩

第二十三回生 菅原 百合子

平成二十八年十月二十六日、お元気な鈴木先生、就任初の矢澤会長、他四名の少数精鋭六名が鎌倉西口時計台前に集合した。今回のコースは、西口から徒歩三十秒。築八十年にも及ぶ大正ロマン漂うホテル・ニューカマクラから始まった。御成小学校校門門札は、俳人高浜虚子のもの。当時虚子のお孫さんが通っていた縁による、という。続いて鎌倉五山第三位の寿福寺へ。北条政子が榮西を招聘し創建。境内全域が国史跡、かつては、仏殿、総門など十五以上の塔頭が建ち、僧徒二六〇人余を擁する大寺だったと伝えられる。墓地に立ち入り、北条政子、源実朝、高浜虚子、大仏次郎等の墓を参った。寿福寺墓地から源氏山への山道の傍らにある、太田道灌墓を過ぎ、源氏山公園の源頼朝銅像に挨拶し、新田義貞の鎌倉攻めで知られる化粧坂を通り葛原が岡神社にて、待ちに待った昼食。風が出てじっとしていると肌寒く感じる。休憩終わりでさて次は、ハイキングコースを行き、浄智寺へ。たまに行き交う老若男女、外国人など、ちよと嬉しい。浄智寺は鎌倉五山第四位。国史跡。開基は、北条宗政、師時とされる。静寂なたたずまいで、鎌倉十井の一つ甘露井がある。墓地は、島木健作、磯田光、澁澤龍彦等。皆、健脚のためか?! 時間早めのため、隣の東慶寺にも詣で、井上省吾元校長の墓に参る事ができた。（大松元バレー監督の墓にも寄る。北鎌倉駅にて解散。お話しくださった鈴木先生に感謝。また参加します！

夏の部活動

雨が多く不安定な夏でしたが、大会やコンクールに、そして深中祭に向けてと、運動部も文化部も精一杯活躍しました。結果が全てではありませんが、全校生徒の前で表彰された生徒たちの、晴れやかで凛々しい姿がとても印象深く、誇りに思いました。また、水泳部はありませんが、中体連主催の県大会を勝ち抜き、全国大会に出場しました生徒も一緒にご報告します。今年度の夏の活躍は以下の通りですが、深中祭に向けての活動も活発に行われています。今後とも生徒たちの活躍への応援を、どうぞよろしくお願いいたします。

各部活動の夏季大会の結果

陸上部	通信陸上競技大会 県大会 出場 (坂齋綾介・久保彩夏・小川有海・壽 野愛・佐々木菜摘) ※9月17日(日) 9:30～ 鎌倉市総合体育大会陸上競技の部 不入斗競技場
バスケット(男子)	市内大会 優勝 湘南ブロック大会 出場 鎌倉市優秀選手 浅川 翼・神林謙人
バスケット(女子)	市内大会 第3位 湘南ブロック大会 出場 鎌倉市優秀選手 櫻井めれ奈
サッカー部	市内大会 出場 鎌倉市中体連選抜選手 波形真輝・土井下敦哉・沼上蓮音(3年)
軟式野球部	市内大会 ベスト8 鎌倉市中体連選抜選手最優秀賞 日向野育 鎌倉市中体連選抜選手優秀賞 濱本里帆・成塚大地・峠田直祐輝・加藤壮太
バレー部	市内大会 第3位 湘南ブロック大会 ベスト16
ソフトテニス部(男子)	市内大会 個人戦出場 団体戦出場 湘南地区大会 個人戦出場 太田光哉・重松颯太
ソフトテニス部(女子)	市内大会 個人戦出場 団体戦第3位 湘南地区大会 個人戦出場 須藤真奈・水野文葉 団体戦出場
卓球部(男子)	市内大会 出場
卓球部(女子)	市内大会 出場 湘南地区大会 個人戦出場 後藤菜緒・曾根萌那 団体戦出場
剣道部(男子)	市内大会 出場
剣道部(女子)	市内大会 出場
水泳	全国大会出場 200m 平泳ぎ 16位 土田充千穂
吹奏楽部	県南吹奏楽コンクール 金賞
合唱部	第84回 NHK 全国音楽コンクール 神奈川県コンクール 奨励賞 平成29年度(第65期) TBS こども音楽コンクール 優良賞
科学部	鎌倉市中学校模型飛行機大会 ゴム動力プロペラ部門 特別賞 大山泰輝・加藤蓮樹・木村泰生

2016年度 卒業生進路状況

私立高校	公立高等学校
山手学院	希望ヶ丘
鶴沼	松陽
平塚学園	横浜平沼
湘南工科大学附属	保土ヶ谷
横須賀学院	舞岡
横浜創英	金井
アレセイア湘南	柏陽
湘南学院	横浜緑ヶ丘
横浜清風	(川)橋
三浦学苑	横須賀
横浜学園	逗葉
旭丘	鎌倉
鎌倉学園	七里ガ浜
藤沢翔陵	大船
北鎌倉女子学園	深沢
鎌倉女子大学	湘南
緑ヶ丘女子	藤沢西
日本女子大学附属	湘南台
慶應義塾	茅ヶ崎
東京実業	茅ヶ崎西浜
岩倉高校	西湘
日本大学荏原	釜利谷
天理教校学園	金井
クラーク記念国際	横浜桜陽
鹿島学園	横浜清陵
ヨコスカ調理製菓	横浜栄
	藤沢清流
	平塚湘風
	平塚農業科
	藤沢工
	(横)横浜商
	白山
	横須賀明光
	横浜国際・国際
	藤沢総合
	(須)横須賀総合
	(定単)横浜明朋
	(通)横浜修悠館
	鎌倉養護・本校
	東京工業大学附属科学技術

卒業生 151名

深友会からのお知らせとお願い

今年の夏は前半が猛暑で、八月になると一転、雨模様の毎日でした。日照不足による野菜などの値上がり、に家計が圧迫され大変な思いをされた方も少なくなかったようです。

「深友会だより」お届けします。皆様のおかげで二〇号を数えるまでになりました。賛助金など皆様のご協力に感謝いたします。深友会の経費は卒業時にいただく会費と賛助金だけでまかなっています。これからもよりしくご協力のほどお願い申し上げます。

この会報は住所等が確認できた方々にお送りしています。お手元に届かない卒業生で送付を希望される方は事務局までお知らせください。また同期生の名簿を新たに作成した際には事務局にお送りください。全員にこの会報を送らせて頂きます。なお同封の振込用紙は会費ではなく、寄付を強要するものではありません。卒業生の連帯をはかる同窓会の活動にご賛同頂ける方に賛助金としてご協力をお願いするものです。ご理解ください。

住所等変更の際はご一報ください。ご寄稿、ご通信、賛助金お振込の節は卒業年度と旧姓を明記くださるようお願い申し上げます。

「深沢中学校の今の教育活動を知る」

鎌倉市立深沢中学校 校長 池田吉伸

深沢中学校に着任してから、早三年が過ぎようとしています。過去二年間は、「ここ二十年間の深沢中学校の教育」「深沢中の一年」と学校の様子を紹介してきました。ところで今、深沢中学校のクラス数は、修学旅行の行き先は、日頃の教育活動の様子は、学校が静かだけどうしたのかな？ そんなことを疑問に思ったことはないですか？ 深沢中学校では、ホームページを随時更新して、在校生・卒業生・地域の方に紹介しています。

(<http://www.kamakura.ed.jp/~hukakyuu/index.html>)。を一度ご覧下さい。インターネット環境がなくても、スマートフォンからでもご覧になります。

ホームページには、次のような内容が掲載されています。

「トップページ」には、最近のお知らせ、更新情報、防災計画等。

「学校紹介」では、教育目標・校章の由来・生徒数。そして校歌を開くと、吹奏楽の演奏や合唱部の歌声が響いてきます。

「行事予定」では、年間行事をはじめ今月や来月の詳しい予定表を見ることができます。

「生徒会・部活動」では、生徒会や部活動の内容や戦績を掲載しています。

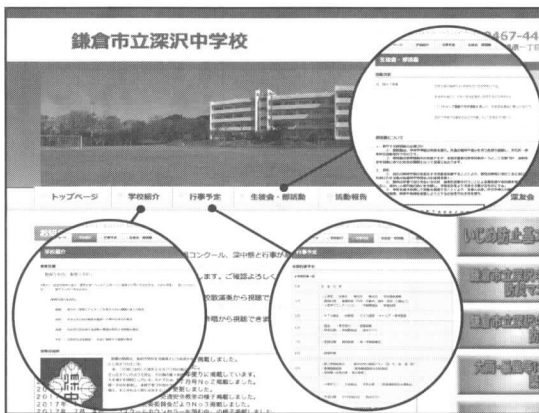
「活動報告」では、学校の教育活動の様子や特別授業の様子を掲載。また、行事や修学旅行やキャンプ等で、現場からの様子をいち早く掲載しています。

「学年便り」には、各学年が毎月出す学年便りを掲載しており、現在の学年の様子がよくわかると思います。

「PTA」のページでは、PTA主催の活動の様子も掲載しています。

「深友会」のページでは、深友会だよりを掲載しています。

深沢中学校の今を、これからも応援してください。



笛田山 佛行寺 縁起

住職（第二十二回生） 立野正泰

開創は明応四年（一四九五）三月と伝え、開山は佛性院日秀聖人。現住職で三十三代目になり、日蓮宗比企谷妙本寺の旧末寺院である。江戸期には七間四面の本堂を有していた。

山門は薬医門。

境内裏山の山頂には、鎌倉幕府草創期の武將梶原景時の嫡男で、源頼朝死後に幕府内での対立から鎌倉を追われ、駿河国で父とともに討死にした、梶原源太景季の片腕を葬ったという「源太塚」がある。

伝承では景季の死後、後を追って当地で自害した、妻の信夫（しのぶ）の霊を済度するため、村人が日秀聖人を請じて結んだ庵が当寺の濫觴とされる。その後の寺伝については、資料がなく未詳。また、旧笛田村の鎮守である三嶋神社の別当寺であったことから、現在でも正月三が日には、同社で当寺住職による朝勤が修され、手広三十番神の大祭も修している。神仏分離以前はおそらく打越寺神社の別当も勤めていたと思われる。昭和三十六（一九六二）年六月に、集中豪雨による裏山崩壊のため本堂、書院を損壊。翌年に本堂再建を果たすとともに、同三十八年には書院を建立した。崩壊した裏山の崖地には庭園が整備されている。春には躑躅が、夏には睡蓮が庭園

を彩る。現在の書院は平成十二年に建て替えたものである。
この文章は法縁史に掲載したものに加筆しました。今後他書に掲載されることがあります。

同期会だより

■第十九回生（昭和四十二年卒業）同窓会開催

平成二十七年三月十四日(土)第六回目の同窓会を藤沢商工会館ミナパークにて開催しました。午後四時半より七時過ぎ迄、食べて飲んで大いに語らいあつという間の二時間半でした。次回は二年後の開催が決まり三々五々二次会に散つていきました。出席者三十三名。



深中学校歌の生い立ち

昭和四十五年三月卒業（第二十二回生） 岩壁孝次

現在歌われている校歌は、昭和三十四年一月十四日に制定されました。当時は校歌制定を記念し、一月十四日が開校記念日となっていた時期もあつたようです。

校歌ができるまでは「深沢中学校応援歌」が作られ歌われていた時期もありました。

校歌が生まれたのは、音楽の教師がいなかった当校に昭和三十一年五月から故吉川美利先生が教鞭を執られるようになったことが発端でした。昭和三十四年当時の吉松二夫校長の依頼で吉原正仁先生が作詞したものに、吉川先生がメロディーを作曲して校歌が完成したのです。

この校歌の特徴は一番のメロディラインが異なっていることで、校歌としてはかなり珍しいものです。作曲された吉川先生自身もこの部分のメロディーが気に入っていると語っておられました。

以来、現在に至るまで約六十年間、入学式に卒業式に運動会にと生徒たち

に歌い継がれています。
何処かで誰かが口ずさむと自然と歌詞が、曲が思い出され、いつでも、深沢中学校卒業生が世代を超えてつになれる歌です。これからも永く私たちの心に響き、そして、ふたたび、「州崎をわたる…」と口ずさめることを楽しみに。

深沢中学校校歌

- 1、州崎を渡る 風さわやかに
みはるかす 空のあなたや
富士の嶺は 地平をぬきて
ゆるぎなき 希望のしるし
- 2、若き我らの 夢はぐむ
真理の森は 深くとも
学ぶ力の たくましさ
光と流れ 雲と湧く
- 3、道険しくも 雄々しく往かん
師と友の 心に結び
いまたぎる 胸の高潮
ああ 深沢中学 常葉の栄え

深沢中学校応援歌

- 1、ああ東海の一角に
立ちて天下を望み見る
門出祝いし若人の
まゆにかざせるさくら花
清なり明なり志気やこれ
いざや進まんわが深中
- 2、夕べさまよう草のつゆ
求めききにし虫の声
たちまちその音絶え入りて
迎うむら雲小夜嵐
竜王来り今そ時
剣をばとれやわが深中

深沢歴史トピックス

「手広の伝説」

第八回生 石井和行

戦道（たたかいどう・たてけいど）
元弘三年（一一三三）五月十八日、新田義貞の鎌倉攻めの折、多摩川の分倍河原の戦いに敗れた北条軍は、一氣に退いて、鎌倉で防御することになり、化粧坂を出て州崎の地に布陣しました。

新田軍の前面は、堀口貞満軍、守りは北条軍の将・鎌倉幕府最後の執権である赤橋守時を大将として両軍がここで激突し、五月十八日終日戦いが続きました。

一昼夜に六十五度にわたる斬り合いが有り多数の戦死者出て、初め六万騎あつた幕府軍は、新田軍の猛攻にあい、ついに三百騎ほどになつてしまひました。足利尊氏の妻の兄である赤橋守時は、州崎の千代塚というところで自害しました。

その後、新田義貞は極楽寺切通しへ大館宗氏が幕府軍の本間山城左衛門に打たれ、彼が率いていた軍団は片瀬、腰越まで退却との情報に、二万騎を率いて二十一日夜半、州崎から片瀬、腰越を超えて極楽寺坂に泊まりました。しかし、極楽寺坂一帯は北条軍が堅固な陣を構え、海上には大船を浮かべ、一分の隙もありませんでした。
新田義貞は、極楽寺坂の突破をあき

